

グローバルにいがた



国際交流拠点から

from

大連



池田 千尋さん

=妙高市出身=

私が大連の地に初めて足を踏み入れたのは3年前のことだ。月は6月。青空が広がり街路には大連のシンボルアカシアの木が生い茂っていた。イメージしていた中国とは違った高層ビルがそびえ立ち、人々の活気に満ちあふれていた。

少し慣れるといろいろなことに気づく。所構わぬ大きな声で話し、車のクラクションは至る所で聞こえる。洋服店はスピーカーを外に置き、自分の店が一番目立つように隣の店に負けじと音量を上げる。いい意味でも悪い意味でもとにかく活気があった。

昭和の日本の高度経済成長期とはこのようないいという概念がないのな雰囲気だったのだろうと思った。昭和55(1980)年生まれの私は経験はないが、この大連の雰囲気が日本の古き良人から感じ取れた。この時代のようで懐かしく感じたのだ。明日は今日よりも必ずよくなるといふような高揚感を中国人から感じ取れた。この熱気のある街がすぐに好きになった。

特に好きな部分は中国人には裏表がない点だ。私は1年に1度帰国し東京の職場に出勤するが、電車やバスに乗ったときあまりに静かさに毎回驚く。静かな出勤とは180度変わり、職場では最高の笑顔で接客に励む。あまりにも自分自身にギャップがあるのを感じた。中国人は仕事中も仕事を以外もさほど変わらない日本人と違って仕事をしてほしい。(池田さんは大連にあつては「ファンション」として受け入れられている) ブラジル・タル



(小林さんは国際力機関のコーディネーターとして、小規模農家を支援しています)

脚に入れた墨を入れた女性。ブラジルでは「ファンション」として受け入れられる

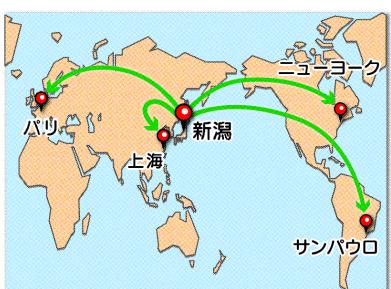
3年前、池田さんが暮ら始めたところの大連の街

昭和の活気 疑似体験



3年前、池田さんが暮ら始めたところの大連の街

新潟日報社が開設した米ニューヨーク、ブラジル・サンパウロ、中国・上海、欧州(パリ)の国際交流拠点などを通じ、海外で暮らす本県関係者から現地の様子をリポートしてもらいます。また、新潟日報ホームページ「モア」にも掲載し、感想や意見を受け付けています。



第1月曜掲載

from

from

ブラジル



小林 大祐さん

=新潟市西蒲区出身=

中はこうしなければいけないという概念がないのも相手の気分を損ねない。接客業でも面倒くさいという表情があからざりで見えた。だからこっちも相手の気分を損ねない。接客業でも面倒くさい。自分がどういう運動をしているのか紹介している。この国の芸能人は美容の秘密を隠さない。整形さえ公表することも珍しくない。

もう一つは、「18歳を前に初めての入れ墨」。入れ墨への偏見は少なくファンションの一部だ。入れ墨の「低年齢化」が進んでいると感じた。

若い男女の共同生活を力みなぎりで見ると、鍵と鍵穴など対の入れ墨事情をネットでいろいろ調べてみると、鍵と鍵穴など対の入れ墨を入る女性が先日新聞の芸能欄でこんなことを言っていた。

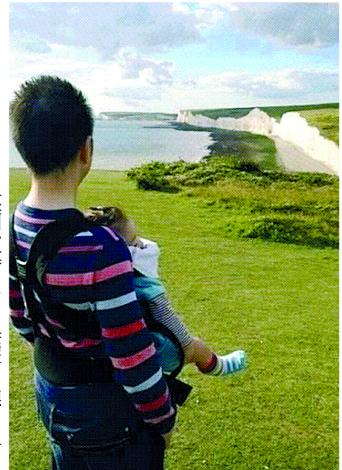
「愛の誓い」として一組で一緒に生活した彼らの関係を象徴するような入れ墨を入れようと思つていまどろく2人で話し合つていて

（小林さんは国際力機関のコーディネーターとして、小規模農家を支援しています）

美しい髪型をした女性。ブラジルでは「ファンション」として受け入れられる

3年前、池田さんが暮ら始めたところの大連の街

おしゃれも「開放的」



ドーバー海峡に臨むセブンシスターズの断崖（奥）

from



田中 弥生さん

=新潟市中央区出身=

手付かずの自然満喫



中学生ぐらいの女の子がこちらを押しのけるような勢いでやつてきた。本屋の雑誌売り場。「わあ」と歓声を上げて彼女が手にした雑誌は、いま輝くアイドル特集のようだ。雑誌をぱらぱらめくつてみたが、取り上げられているファンションやマークも米国志向の世代の女子は何に興味があるのだろうか。興味が湧いてじつくり読んでみた。

長女は私立の女学校で創立100年の伝統校に通う。その校名を和訳すれば「家政」。保守的な校風だが、決して「古風」ではない。化粧や髪の染色も許され、先生と生徒の垣根を超えた美容情報の交換も盛んだ。自身の先生であれば自分の恋愛事情を生徒に打ち明けられるなどかなり開放的だ。

そうしたブラジルらしい自由な気風が、その雑誌記事にもよく反映されているような気がしました。家に戻って雑誌のポータルサイトをついでにぞいてみて、自分についての二つの記事。一つは「著名人のバーナル・トレーナー特集」で、美容を維持するために芸能人はどういう運動をしているのかを紹介している。この国の芸能人は美容の秘密を隠さない。

もう一つは、「18歳を前に初めての入れ墨」。入れ墨への偏見は少なくファンションの一部だ。入れ墨の「低年齢化」が進んでいると感じた。

若い男女の共同生活を力みなぎりで見ると、鍵と鍵穴など対の入れ墨事情をネットでいろいろ調べてみると、鍵と鍵穴など対の入れ墨を入る女性が先日新聞の芸能欄でこんなことを言っていた。

（田中さんはロンドンでクラシックバレエ教師をしています。現在育休中です）

美しい髪型をした女性。ブラジルでは「ファンション」として受け入れられる

3年前、池田さんが暮ら始めたところの大連の街



（田中さんはロンドンでクラシックバレエ教師をしています。現在育休中です）

美しい髪型をした女性。ブラジルでは「ファンション」として受け入れられる

3年前、池田さんが暮ら始めたところの大連の街

平日限定 特別企画 きんばち宿泊 おすすめプラン

お好みに合わせた3タイプの宿泊プランからお選びいただけます！

お手頃価格が嬉しい！
新鮮な海の幸を召し上がり！！

福とくプラン

刺身 + 烧物 + 握物など料理8品
他、カニ汁・ご飯・漬け物付

一室4名様以上の場合は

一泊食6,300円(税別)

大好評！当館の人気企画！
釜めでずわいがに

40分食べ放題コース

刺身 + 握物 + 鍋物など料理8品付
他、カニ汁・ご飯・漬け物付

日帰り4,500円(税別)

一室4名様以上の場合は
一泊食6,900円(税別)大満足！高級食材あわびが
たっぷり食べられる!!

あわびたっぷりコース

あわび刺身 + 肉质あわびステーキ3種など料理7品付
他、カニ汁・ご飯・漬け物付

一室4名様以上の場合は

一泊食6,900円(税別)

カニの宿 きんばち

長岡市寺泊花立(寺泊水族館前)

TEL 0258-75-4258

●日曜～金曜(祝日前日除く)※土曜・祝前の料金はお問い合わせください。

●寺泊駅まで無料送迎致します。●3名様以下のご利用の場合はお問い合わせください。●お食事は仕入れ等の都合により内容が異なる場合がございます。

●お食事は仕入れ等の都合により内容が異なる場合がございます。

●お食事は仕入れ等の都合により内容が異なる場合がございます。